

オプアウト文書	単機関研究用
臨床研究承認番号	2-025135-00

作成日： 2025 年 7 月 3 日（第 1 版）

手稲溪仁会病院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

1. 研究課題名

体外受精胚移植時の子宮内膜の厚さと周産期予後に関する検討

2. 研究の目的

年出生数全体に占める体外受精妊娠の割合は上昇しています。子宮内膜が薄い状態で胚移植することは、着床率のみならず周産期予後にも影響する可能性が指摘されています。胚移植時の子宮内膜の厚さと様々な周産期予後の関連について調査を行います。

3. 対象となる方

2020 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の 5 年間に当院で体外受精胚移植妊娠成立し、かつ分娩にされた方

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 1) 患者背景（年齢、合併症、既往歴、妊娠分娩歴）
- 2) 分娩時の情報（出生体重、アプガースコア、分娩方法、出血量、胎盤娩出までの時間、胎盤用手剥離の有無、癒着胎盤の有無）
- 3) 分娩後の情報（RPOC、子宮仮性動脈瘤）

試料：なし

5. 試料・情報の利用方法

上記項目を、手稲溪仁会病院産婦人科に集約して解析を行います。いずれも、診療の中で得られたものであり、この研究のために患者さんに新たな検査を行ったり、経済的負担をかけたりすることはありません。

6. 研究期間

実施許可日～2027 年 7 月 31 日

7. 個人情報の取り扱い

本研究で利用する情報等からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、学会や雑誌等で研究成果が発表されます。取り扱う情報等は、研究責任者が責任を持って厳密に管理します。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

オプアウト文書	単機関研究用
臨床研究承認番号	2-025135-00

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
手稲溪仁会病院 産婦人科 担当医師 網師本健佑
〒006-8555 札幌市手稲区前田 1 条 12 丁目 1-40
TEL : 011-681-8111 (代表)

研究責任者：手稲溪仁会病院 産婦人科 網師本健佑